

2 0 2 4 年 度

事 業 報 告 書

鎮 西 学 院 本 部

認定こども園 鎮西学院幼稚園

鎮 西 学 院 高 等 学 校

鎮 西 学 院 大 学

学校法人 鎮西学院

長崎県諫早市西栄田町 1212 番地 1

学 院 本 部

鎮西学院 2024 年度事業報告

建学の精神・鎮西学院の目指す人間像

1881 年（明治 14）、鎮西学院は、北米メソジスト監督教会から派遣された宣教師 C. S. ロングによって、長崎市東山手に設立された。生徒 12 名と教師 4 名からスタートした学院は、今や認定こども園・高校・大学までを擁し、卒業生の総数が 1 万 5 千人を超える総合学園に発展した。140 年を超える長い期間には、原子爆弾による被爆を経験し、また災害にも遭遇した。しかし鎮西学院は常に望みと信仰を棄てず、神への信頼をおく者の強さを発揮して今日に至っている。

少子高齢化と人口減少、国際化など、教育をめぐる環境は時代とともに変化し、私学のあり方もその根本が問い直されている。しかしそのような状況にあっても、創立者 C. S. ロングの教えである Be Christian Gentlemen！（キリスト教精神をもった紳士たれ）という建学の精神は、21 世紀の現在でも生きており、クリスチャン・マインドを持った教養人を育むことは、学院の創立意義であり、将来変わることのない鎮西学院にとっての真理である。

川崎升元院長が提唱した「敬天愛人」のスクールモットーは、戦時下の学院を閉校の危機から救った。「敬天愛人」のスクールモットーは、鎮西学院に連なる多くの人々の基本的な生き方の姿勢であるといっても過言ではない。

2024 年度目標聖句

ともし火をともし、それを器で覆い隠したり、寝台の下に置いたりする人はいない。入って来る人に光が見えるように、燭台の上に置く。隠れているもので、あらわにならないものではなく、秘められたもので、人に知られず、公にならないものはない。だから、どう聞くべきかに注意しなさい。持っている人は更に与えられ、持っていない人は持っていると思うものまでも取り上げられる。

ルカによる福音書 8 章 16 節～18 節

鎮西学院 第Ⅱ期中期計画(2023 年度～2027 年度 5 か年)

当年度は、鎮西学院第Ⅱ期中期計画（2023 年度～2027 年度 5 か年）の 2 年目に当たる。同計画の概要は以下のとおりである。

計画	対象年度	テーマ
第Ⅱ期中期計画	2023 年度～2027 年度	キリスト教主義総合学園としての経営力強化と継続的・安定的な財務基盤の構築

第Ⅱ期中期計画の達成目標は、第Ⅰ期計画で未達であった目標の早期達成を目指す

もに、中心的課題を「キリスト教主義総合学園としての経営力強化と継続的・安定的な財務基盤の構築」とし、財務目標を以下のように設定した。

- ◆目標① 経営判断指標：現状 B0→最終年度 A3 以上 経常収支差額比率 10%以上
B0：・教育活動資金収支差額が 3 か年のうち 2 か年以上黒字だが経常収支差額が 2 か年以上赤字の状態
・外部負債を約定通りに返済できる状態
A3 以上：教育活動資金収支差額・経常収支差額が 3 か年のうち 2 か年以上黒字の状態。
- ◆目標② 経常収支差額の黒字化とその維持 計画 3 年目以降 黒字化
- ◆目標③ 受入学生数：全部門における収容定員の確保

また、第Ⅱ期中期計画をリーディングする次の 5 つのプロジェクトに取り組む。

- ① 建学の精神・教育理念「体系化」プロジェクト
- ② SDGs 教育推進プロジェクト
- ③ 鎮西学院「平和学」「平和教育」プロジェクト
- ④ 地域に開かれた学院キャンパス魅力度アッププロジェクト
- ⑤ 鎮西学院ガバナンス改革推進プロジェクト

1.事業の概要

当年度は、大学・高等学校等も収容定員充足率が 100%を超える学生・生徒数を維持することができた。特に大学は、学生募集が好調で、入学定員充足率は 5 か年連続 100%を超え、収容定員充足率は 3 か年連続 100%を超えることとなった。大学では、「ビジネスアーキテクト学部設置プロジェクト」が、文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」としてが採択され、2028(令和 10)年度開設を目指し、準備を進めることとなった。

2024(令和 6)年 5 月の「監事監査報告書」の内容について、第三者委員会を設置し、調査及び提言等について報告書が提出された。

改正私立学校施行に対応するとともに、法人のガバナンス強化、上記の第三者委員会の調査結果及び提言に沿った改善を図るため、寄附行為変更及び関連諸規程の改正・制定を行った。

引き続き、大学事務局・高等学校における変形労働時間制・裁量労働制の導入、認定こども園における処遇改善等、教職員の働き方改革・労働環境の改善に努めてきた。

なお、計画 2 年目の財務目標の達成状況は、以下の通りとなった。

- ◆ 目標① 経営判断指標： B 0
- ◆ 目標② 経常収支差額： 7,582 万円の支出超過（前年比 6,615 万円増）
- ◆ 目標③ 受入学生数（2024 年 5 月 1 日現在）：
収容定員充足率 大学 112.1% 高校 102.3% 幼稚園 70.0%

2.施設等の状況

【主な施設設備の取得】

大学	語学情報センターPC 設備	2,420 万円
	スクールバス	626 万円
高校	教員用ノート PC	343 万円
	スクールバス	563 万円
	Kimiko Road	2,152 万円
	ロング寮エアコン設備	1,540 万円

3.責任限定契約、役員賠償責任保険契約の状況

・ 責任限定契約

理事、監事及び評議員については、私立学校法第 44 条の 2 第 4 項に基づき学校法人鎮西学院寄附行為第 53 条に定められた損害賠償責任の限定に関し、在任する期間について、契約締結。

・ 役員賠償責任保険契約の状況

保険名称：私大協役員賠償責任保険制度

保険期間 2024 年 4 月 1 日～2025 年 4 月 1 日

保険期間中総支払限度額：3 億円

保険取扱：東京海上日動火災保険株式会社

認定こども園 鎮西学院幼稚園

認定こども園 鎮西学院幼稚園 事業報告

2025 年5月 23 日

キリスト教保育を中心として子ども達を育む

「子ども達を私のところに来させなさい。妨げてはならない。

神の国はこのような者たちのものである。」

マルコによる福音書 10 章 14 節

～子どもは神様から預かった大切な存在～

- ・環境が整った新園舎で『認定こども園』としての教育・保育の充実に努める。
- ・長時間幼い子どもたちを預かる使命感を持ち、愛情を込めて「乳幼児からの保育」と地域の「子育て支援」に尽力する。

◎環境が整った新園舎で『認定こども園』としての教育・保育の充実に努めた。

◎試行錯誤した1年目の反省を生かし、行事等、改善に取り組んだ。

教育(保育)の基本方針

幼児における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。学校教育法第 22 条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

～教育・保育にあたり重視すること～

- ・幼児の「主体的な活動」を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。
- ・遊び＝学び。子どもの主体性と子ども同士の関わりを大切にし、自由に遊ぶ環境を保证して、「非認知能力」を育てる。
- ・幼児の自発的な活動としての「遊び」は、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であるので、「遊び」を通して次の 5 領域 ①健康 ②人間関係 ③環境 ④言葉 ⑤表現 のねらいが、総合的に達成されるようにする。
- ・認定こども園は、乳児から長時間保育を行う。保育の目標「生命の保持」「情緒の安定」「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものと関わり感性が育つ」のねらいが達成され、5領域と繋がるようにする。
- ・各々の年齢に応じた活動内容(デイリープログラム)に合わせ教育・保育を行い、園児の生活リズムを整える。
- ・食事は心身を育てる大切なものであることから、委託業者と連携をし、各々の年齢にあわせた食事内容、食育の充実に努める。
- ・幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにする。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい資質・能力」を常に意識した教育活動の展開

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」(10項目)幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領共通

- ①健康な心と身体 ②自立心 ③協同性
- ④道徳性・規範意識(ルールを守ろうとする意識)の芽生え
- ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり、生命尊重
- ⑧数量・図形・文字等への関心・感覚 ⑨ことばによる伝え合い ⑩豊かな感性と表現

◎2023 年度 7 月より『こども園』へ移行したため、その際入園した 3 歳未満児、2 号認定児等、途中入園児は、今年度 4 月に揃って『入園式』を行った。人数が多かったこともあり、幼稚園部と保育部に分けて実施した。

◎1 号認定児、2・3号認定児の入園決定時期に合わせ、2回の保護者説明会を行った。

◎長期休暇中の保育、3歳以上児は3学年合同で過ごすのではなく、年齢差を考慮し、3歳児と4、5歳児の2クラスとし、平常時とあまり変わらないような過ごし方ができるようにした。

◎個人記録を3学期のみとし、1、2学期は面談に変更した。保護者からも好評であった。

1) 教学改革計画

◆保育内容の充実

① キリスト教保育(敬天愛人)の充実

◎アンナちゃんデー(日米友好親善人形)、平和祈念礼拝・式典を通じ、平和について、みんなで考えることができた。

② PDCA(計画・実行・評価・改善)を忠実に

年間保育計画 → 月案 → 週案

・担任が立てた計画を、園長・主幹が、必ず目を通し、共に考え、アドバイスする。

・職員会議 B にて、全員で保育内容の検討を行う。

◎週案提出(幼稚園) … 第2, 4月曜日	園長・主幹2名	}
◎業務記録・運転日報・週案(保育部)の提出 … 第1,3月曜日	検印	

③ 協議等の時間確保のため、毎日の終礼(連絡会)を有効に。

④ 進級時、新旧担任間で、書面だけでなく口頭で引継ぎを行う。

⑤ 自己評価

・各自 1 年間の振り返りを行う。個々の意見を聞き、園全体の問題点を検討・改善する。

◎自己評価時に、園全体についても意見聴取をし、職員会議にて検討、改善を行った。

⑥ 連絡簿作成。全教職員が目を通しチェックを入れ、細かい伝達不足を避ける。

⑦ 行事の計画的実践

・全ての行事の起案を早めに ～個人の力から組織の力へ～

◎業務量が増え、起案が遅くなりがちだったため、引き続き、計画表通り実行できるよう努めていく必要がある。

◆教職員の資質向上

◎処遇改善加算Ⅱ支給要件であるキャリアアップ研修を多数の教員が受講できた。

◆学院全体を意識した活動の展開

◎園庭に緑がなくなったことから、学院全体が園児の遊び場とさせていただき、できるだけ自然と関わ

る機会を増やすようにしていく。

◎高校生との交流の機会を多くもてた。(家庭科授業1年生全員、GE コースと英語を交えた交流会、ひな祭り集会にて箏部による演奏会)

◆園長の絵本の読み語り

◎SDGS の絵本も読み、礼拝でも年に1度は必ず話をしている。

2) 園児募集対策と園児数・学納金等計画

2024年度園児数(定員)

3月

年 齢	人 数	
0 歳(3)	3	
1 歳(6)	6	
2 歳(6)	6	
満 3 歳(10)	9	
3 歳 1 号(15)	12	25
3 歳 2 号(15)	13	
4 歳 1 号(15)	12	20
4 歳 2 号(15)	8	
5 歳 1 号(15)	14	27
5 歳 2 号(15)	13	
人数計(115)	96 ※前年度 96	

〈園児募集対策〉

◆認定こども園移行

◎2025年度より、0歳児の定員を3名から6名へ。3 歳以上児の定員を、国の基準に合わせ25名へ変更。

◆在園児保護者への丁寧な対応

園児確保の最大の力は、在園児保護者や家族の評価・評判が最大の広報となる

◎保護者へ配布する文書は、携帯電話で見ることができるよう、電子配信した。

◆園評価から見出した課題を、来年度の改善目標とする

◎保護者へ結果を公表し、意見についても1つひとつ回答を載せた文書を配布した。

◆園長だより発行

◎月 2 回の発行に努めた。(子育てについて、絵本の紹介ほか)

◆園だより・クラスだより・フォトレターを毎月発行

◆預かり保育の充実(1号児支援)

◆保護者との連携推進

◎役員の負担軽減のため、保護者とも相談しながら、定例役員会の回数も最小限とした。

◎保護者が学んだり、交流したりできるような行事实施。

『親子で楽しむ芋畝づくり』『平和ミュージアム見学会』『足育講演会』『人形劇鑑賞』

ひかりの会主催『かたり音さん演奏会』『たいちろーおにいさんコンサート』『味噌づくり』

◆地域のニーズにあった子育て支援の充実

おひさまくらぶ&グリーンクラブ(未就園児親子遊びの集い)

認定こども園移行後は、主幹教諭 2 名を中心に親子遊びの集いに加え「教育・育児相談事業」「育児支援家庭訪問事業」を実施。

◎原則週 3 日の子育て支援活動を行った。親子遊びの集いに加え、園庭開放、園見学会など実施。園見学会は、できるだけ保護者の意向にそった日程や内容とした。

◆ホームページ・SNS による情報提供、広報活動の充実

◆満 3 歳児受け入れ強化

◎定員を満たすことができた。

3) 施設等整備計画

◆園舎

◎学期ごとの安全点検をはじめ、日頃から危険箇所や不具合がないか、管理を強化した。

xl

◆園庭整備の推進

◎プランターなどを利用し夏野菜栽培、チューリップの球根植えなど行った。

4) 危機管理

子どもの生命、健康を預かっているとの使命感を持ち、学期ごとに全職員で安全点検する。

◎バス安全装置の使い方を、学期ごとに園児達と訓練をした。

◎月1回の火災避難訓練実施。不審者、地震については年各 2 回実施。

◎他施設でうつぶせ寝、食事時の事故、熱中症などが報道された際は、必ず、注意喚起し、当園での対応を再確認した。

◎室内・園庭の安全点検を毎学期始めと終わりに実施した。

5) 感染症対策

6) 教職員への配慮(働き方改革)

◎年休消化、代休取得などは実行できた。

鎮西学院高等学校

鎮西学院高等学校 事業報告

1) 定員 300 名確保＝最低かつ最大の目標―「教育の 5 本柱」と「本校の強み」を活かして。

年 度	2020	2021	2022	2023	2024
入学生徒数	334	323	346	320	286
(全校生徒数)	(967)	(949)	(969)	(969)	(922)

- ・8 年振りに入学者数が定員 300 名を下回る。しかし、県内 93 公私立高校で 2 番目の生徒数。
- ・奨学生及び公務員・GE コース新設の影響で優秀な生徒が増え、進路実績も向上し、周囲の評価は着実に上昇していると感じる。
- ・途中転入学者5名受入れ。しかし、転出者18名・退学者2名・除籍者1名と減少も未だ多い。

2) 2024 年度の具体的目標及び取組

①幅広くて確かな進路保障―「進路の 3 本柱」の更なる充実と学院大との連携強化

イ)進学

- ・国公立大学合格者 30 名以上合格(旧帝大 1 名以上含む)
⇒総数 49 名合格は過去最高であるが、旧帝大合格者なしで半分達成
- ・ICU や青山学院・同志社・関西学院・西南学院等キリスト教学校同盟を中心にした有名私大への進学
⇒明治学院大2・同志社大1・同志社女子大1・関西学院大2・西南学院大4など計181で達成
- ・グローバルイングリッシュコース生による国際系・英語系の大学・学部への進学
⇒国際教養大・神戸市外国語大・長崎大多文化社会・西南学院大などに合格で達成
- ・「鎮西学院大学進学促進委員会」中心に内部進学率高める―大学の評価向上必須
⇒49 名合格し、47 名入学で達成 (昨年 45 名入学)

ロ)公務員

- ・公務員現役合格者5年連続 60 名以上合格(一般職 20 名以上)
⇒長崎県庁 2・長崎市役所・諫早市役所・など一般職 23・自衛官 24・計 47 名合格で半分達成

ハ)就職

- ・就職率 14 年連続 100%達成と有名企業への就職者の増加
⇒14 年連続就職率 100%、九電工・八江農芸・トヨタカローラ長崎・宅島建設などで達成

②盛んな部活動

イ) 学校活性化, 学校の知名度及びイメージのアップに必要

⇒県高体連強化校4クラブ・育成校2クラブ・県高文連文化活動推進校1クラブで県内最多

ロ) 部活動の加入率は 80%超, 部活動の学生募集に与える影響は大きい

ハ) 高校総体優勝旗4本(卓球男女・サッカー女子・駅伝男子)を目指す

⇒高校総体の優勝5種目(卓球男女・バレー男子・サッカー女子・駅伝男子)達成 獲得数は県内最多

二) 陸上部は留学生も迎え戦力充実しているため都大路で全国入賞を目指す

⇒全国高校駅伝競走大会、2年連続出場も19位(昨年23位)と入賞ならず

- ホ) 定員確保のためには好条件だして一定数の奨学生を獲得することが重要(他校との競合で負けている)
⇒S,A 奨学生入学者数は横ばい(82→82→83)、全体として(241→253→255)で微増

③グローバル化の推進

イ) 質の高い留学生の積極的受入れ

- ・24 年度 31 名でスタート予定(ガーナ・ケニア出身者含む)、10 月に5～10 名程度入学予定
⇒10 月以降の0 年生入学は3 名。25 年度は1 年生9 名(全体31 名)
- ・未創社に現地に出向き入学試験・面接を実施してもらい質の高い留学生を確保する(15 名以内)
⇒諫早で試験を行う場合、教頭が面接に立ち会った。
- ・「留学生委員会」さらに阪口先生を迎え指導体制充実―進学実績の更なる向上
⇒留学生は2 名卒業(帝京大学外国語学部・長崎総合科学大学総合情報学部)
- ・AFS・Appleby College などからの短期の留学生も積極的に受け入れていく
⇒AFS 短期2 名・メイン2 名・アップルビーカレッジから4 名受け入れ

ロ) 海外の高校・訪問団との交流再開

- ・上海アレートバイリンガルスクールからの訪問団の受け入れ(5 月)
⇒5/27～5/29 に生徒16 名・教師2 名で来校
- ・諫早の姉妹都市アセンズ市からの訪問団の受け入れ(6 月)
⇒諫早市との姉妹都市委員長のビクトリアさん家族約6 名が来校。2G3G の授業に参加

ハ) 海外研修への積極的参加促進

- ・文科省主催「トビタテ留学ジャパン」・日本赤十字主催海外ボランティア・AFS 経由他
⇒アップルビーカレッジへ2G 生徒4 名が研修 (2/3～3/2)
- ・可能であれば学院大主催の東南アジアへの研修にも参加させたい
⇒実施できず

二) 海外修学旅行

- ・2G は7 月にアメリカ TWU 研修実施予定
⇒アメリカ TWU は7/13～7/28 に生徒20 名・教師2 名で実施
- ・2 年生(G 組除く)は航空費高騰によりシンガポール断念し、25 年3 月に韓国 or 東京で実施予定
⇒予定通り3/4～3/7 に実施

ホ) 明峰中学校(県からの英語教育指定校)や市内の小中学生の英語関係の行事への協力

- ⇒上海アリーテバイリンガルスクール16名+1G3G+明峰中約200 名で交流会を実施
12/12 には小野中学校にて1G2G 生徒が出向いて国際交流活動を実施

④ICT 化の推進

1) 全校生徒がタブレット所持、費用は ICT 諸費として¥3,000/月徴収し相殺

- ⇒iPad は卒業時には生徒所有

2) 一般進学コース1 年生は e-learning 教材「すらら」を導入するために+ ¥1,100 徴収

- ⇒費用は実費を徴収

- 3)濱田 ICT 主任・林原ギガスクールサポーターを中心に環境の改善や、校内研修会などを行い、
全教職員が共通意識をもって進めていく
⇒職員会議の最後の時間を使って ICT 研修会を実施
- 4)私学の助成金等あれば積極的に活用する

⑤キリスト教教育

- イ) 日々の礼拝・様々な宗教行事を通じ信仰心を修養、同時に愛校心も涵養していく(＝学院の根幹)
⇒生徒の感想文等を読むと学院での自らの変化を感じている生徒が多く、キリスト教教育によって大きく成長していることが分かる
- ロ) 7月に島原南風楼にて修養会を2泊3日で実施する
⇒予定通り実施し生徒たちから好評を博した
- ハ) 科・コース・部活動・進路等において様々である生徒を一つに結びつける役割
- ニ) ミッションスクールらしく品性を大切にして容儀とマナーを徹底(高校生らしく・地元にも愛される)

3) 24年度の重点目標

①予算面

- イ) 24年度は生徒減による収入減のため今まで以上に節約に努める
⇒電気やエアコンなどを細目に消して節電に努めた
- ロ) 修養会・芸術鑑賞等の実費を全部または一部徴収(受益者負担を増やす)・PTAからの援助受ける
⇒修養会は徴収費用を増額(+ ¥1,000)
- ハ) 寄付を随時受け付ける一既に陸上部に対して申し出あり
⇒熊本公子先生からの300万円を含み冬の全国大会(男駅伝,男バレー,女サッカー)に1,000万超の寄付

②教育面—アウトソーシングの利用積極的に

- イ) 国公立大学進学コースの学力アップスクール TOMAS 社と契約し AI 教材 atama+を導入3年目
⇒国公立大学合格者49名と過去最高の結果。利用者アンケートの声も高評価。
- ロ) 一般進学コースの基礎学力強化—e-learning 教材「すらら」の導入
⇒一般進学コース主任の飯盛先生を中心に実施。中小規模校での取り組み上位校として表彰。
- ハ) グローバルイングリッシュコースの更なる進化・発展
⇒国際教養大など国公立大学に3名合格、アメリカ研修や English Camp、英検準1級7名合格

③教員関係

- 1) 変形労働時間制(年単位)実施2年目—更なる個々人に応じた効率的勤務実現に向けて
⇒大きな問題なく実施できた
- 2)全教職員で未来を考えていく体制の構築

④生徒募集関係

イ) 部活動の力を最大限に生かす―多少の出費は覚悟して集める(他校に獲得競争で後れを取っている)

⇒2025 部活動奨学生の入学者は 124 名(2024 は 118 名・2023 は 110 名)

ロ) SNS による発信の強化

- ・ホームページや Facebook でのこまめな情報の発信―特に卒業生の子弟獲得のためにも
- ・進路実績の着実な広報
- ・部活動実績のタイムリーな広報

・Youtube サブチャンネルでの中学生対象の少し柔らかめの情報発信なども増やしていく

⇒HP、Facebook、Youtube、Classi などのツールを用いて情報発信に努めた

ハ) 24 年度入試で入学金の納入・合格発表等にまで広がった Web 手続き関係のものを更に充実させる

⇒合格通知票等の郵送を取りやめ Web 上で完結させた。それにより事務作業の軽減に繋がった

二) オープンキャンパスの充実―特に第 1 回は生徒を前面に出して、明るくにぎやかなものに

⇒コロナ禍で3年間教職員のみで実施していたが、4年ぶりに在校生に協力してもらい実施した

⑤その他

イ) 教職員の疲弊感解消・やる気の涵養・意識改革

- ・変形労働時間制の導入によって自由度を増す(事務職員は交代で)
- ・月曜日を原則ノー部活デーに設定・試験中土日の原則練習禁止
- ・校長面談の実施・会話のキャッチボール増やす
- ・活躍を認め合い称えあう雰囲気醸成―Weekly Speech, ノンクリスチャン講話, 教員表彰等実施
- ・収益事業設立に向けた継続的協議の実施

ロ) 学年会や部会などで懇親の場をきちんと持ち横の連携をしっかりする

⇒ほぼ予定通りに実施できた

鎮西学院大学

鎮西学院大学 2024 年度事業報告

1) 教学改革の進捗状況

イ) 入学定員・収容定員の確保

5年連続で入学定員を上回る学生を獲得することができ、今年度も全教職員の継続した努力の成果が実った。収容定員も充足し、第Ⅱ期中期計画における今年度の目標も達成できた。

ロ) 学部・学科再編への取り組み

現代社会学部から「総合社会学部」へ、外国語学科から「多文化コミュニケーション学科」へ、学部・学科名称を変更した。学生の総合知の育生に向け、文理横断・文理融合教育、全学的なデータサイエンス教育など教育プログラムの充実・強化・質的転換に取り組んだ。

ハ) 日本私立学校振興・共済事業団「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業に選定メニュー1「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」事業として、総合社会学部における「文系データサイエンス実践力養成プロジェクト」が採択され、学部・学科の再編を伴う5か年の経営改革を進めるにあたり、2024(令和6)年度から2028(令和10)年度の継続的支援を受けることとなった。

二) 令和6年度大学・高専機能強化支援事業への選定

「学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援」を対象とした事業に選定され、「Society5.0」の実現に向け、経営、ビジネススキル、データサイエンス・生成AI・DXの活用を基盤とした新学部設置を2028(令和10)年度に予定している。

ホ) 学生の自己実現に向けたキャリア支援の成果

卒業生の就職率は昨年度より上昇し、全学的キャリア支援プログラムの成果が継続して出ている。また、留学生においても、就職内定者は国内企業に正社員として内定しており、高い就職率となっている。

【就職・進路実績】

● 就職率

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
全体	98.4%	92.5%	95.6%	93.6%
社会福祉学科	97.3%	88.9%	96.6%	94.7%
経済政策学科	100.0%	93.2%	92.1%	97.2%
多文化コミュニケーション学科	97.7%	91.1%	97.8%	86.9%

就職者(2024年度) 123人 ※就職希望者 125人／卒業生 145人中
(内訳)一般企業79名 医療・福祉22名 公務10名 教職9名
経済団体1名 協同組合2名 ※県内 73人 県外 50人

● 留学生のみ

	2024年度	2023年度
就職率	100%	90.0%
進学率	0	2.9%

就職内定者31人

その他(出産育児のため)1人 ※就職希望者 31人／留学生数 32人中

- 主な就職先: 長崎県(一般職、教育事務、社会福祉職)、南島原市、大村市、佐世保市、神奈川県警察、長崎県教育委員会(特別支援教員、中学社会科)、神奈川県教育委員会(特別支援教員)、

(福)南高愛隣会、一般社団法人是真会(長崎リハビリテーション病院)、(福)致遠会、医療法人横尾病院、(福)若楠、(福)慈愛会、(福)山陰会、長崎厚生福祉団、十八親和銀行、(株)ジャパネットホールディングス、長崎空港ビルディング(株)、(株)にしけい、KPG HOTEL&RESORT、(株)オンテックス、(株)NEXUS、(株)エイジェック、松藤グループ(株)、(株)ワークポート、西肥自動車(株)、金之橋ヒューマンブリッジ(株)、スズキ自販長崎(株)、オリックス生命(株)、(株)アウトソーシングテクノロジー、共同エンジニアリング(株)、ザ・ホテルグループ赤坂(株)、ヒルトンホテル長崎、宅島建設(株)、総合メディカル(株)、(株)関空エンタープライズ、ダイカンサービス(株)、UTエイム(株)、長崎三菱自動車販売(株)、長崎県商工会連合会、長崎県農業共済組合、国立病院機構九州エリア

【資格取得支援】

- 福祉関係国家資格新卒者合格率 ※カッコ内は全国平均

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
社会福祉士	56.5% (56.3%)	52.6% (58.1%)	65.2% (44.2%)	7.1% (31.1%)
精神保健福祉士	66.7% (70.7%)	66.7% (70.4%)	100% (71.1%)	60.0% (65.6%)
W受験	66.7%	66.7%	100%	20.0%

2024年度 社福:13/23 精神:2/3 ダブル:2/3

- 情報処理関連資格(CS検定) ※カッコ内は全国平均 受験者・合格者(人)

	ワープロ 2 級			表計算 2 級		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
2021 年度 集計	38	12	31.6%	17	3	17.6%
2022 年度 集計	49	11	22.4%	8	3	37.5%
2023 年度 集計	47	16	34.0%	11	4	36.4%
2024 年度 集計	4	3	75.0%	2	0	0%

- 英語教育(TOEIC)

	受験者数(人)	最高スコア(点)
2021 年度	64	870
2022 年度	53	760
2023 年度	51	840
2024 年度	49	865

- TOPIK(韓国語能力試験)

	申請者数(人)	最高取得級
2024 年度	3	6 級

- HSK(漢語水平考試)

	申請者数(人)	最高取得級
2024 年度	5	4 級

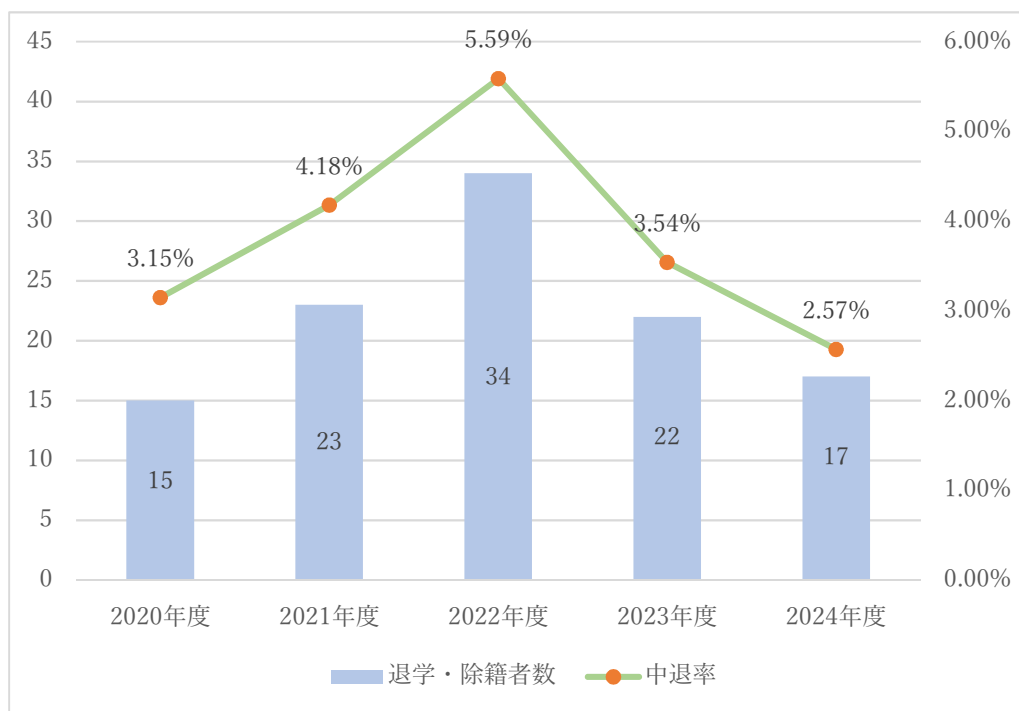
へ) 修学支援への取り組み

- 定期的なキッチンカーや移動コンビニの配置など、アメニティの向上を図った。
- 昨年度と同様、就学支援の一環として、国の助成制度を活用し、新たな修学支援制度が適用されない学生(留学生含む)の学費減免を実施した。
- 文部科学省による認定教育プログラムである「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」へ積極的に取り組み、リテラシーレベルの認定を受けた。

ト) 中退予防

学生委員会を中心にキャンパスソーシャルワーカー、学生相談室、学外専門機関・専門家との一体的かつ総合的な学生支援体制のもと中退予防に取り組んでおり、当年度も2023年度よりさらに中退率は減少した。目標である中退率5%以下となり、取り組みの成果が表れている。

【退学・除籍者数と中退率の推移】



チ) 留学生の派遣・受け入れ

2023年度秋に設置した留学生日本語別科において、初めての修了生37名を輩出した。

また、交換留学(派遣)については、フィリピン・カナダ・韓国・台湾へ計9名、海外短期研修として、香港・フィリピン・韓国・中国へ計24名を派遣した。

2) 地域連携・産学官連携への取り組み

イ) 受託事業一覧

【2024年度 受託事業一覧】

調査・事業名	委託元	金額
まちづくり研究室・生涯学習室の運営	諫早市	—
令和 6 年度諫早市中学生イングリッシュキャンプ	諫早市	150,000 円
雲仙温泉ガイドマップ、グルメガイド翻訳 (繁体字・簡体字・韓国語)	一般社団法人雲仙観光局	75,302 円

ロ) 九州西部地域大学短期大学連合産学官連携プラットフォーム

引き続き、長崎県・佐賀県の国公立大学・短大、自治体、産業界によるプラットフォーム形成事業に参画し、「人材育成・高大連携ワーキング・グループ」責任校として、キャリア支援プログラムや共同入試を実施した。

ハ) 公開講座実施状況

九州西部地域大学短期大学連合産学官連携プラットフォーム事業に関連して、参画する大学と共催で、社会人向けの公開講座を実施した。また、まちづくり研究室主催で、高校生以上の市民の方を対象とした公開講座を実施し、参加者は延べ42名であった。

講座名	主催	開催日
まちづくり研究室市民公開講座 「NO CODE アプリ開発」	まちづくり研究室	2024 年 5 月 18 日(土) より 全 10 回
九州西部地域大学・短期大学連合 産学官連携プラットフォーム公開講座 社会人キャリア形成プログラム 「生成 AI に触れてみよう」	鎮西学院大学、 長崎外国語大学	2025 年 2 月 15 日(土)

3) 学生募集・広報活動の状況

イ) 高大連携関連事業

継続して鎮西学院高等学校との「高大連携講座」に年間を通して取り組み、全学年を対象とした連携プログラムを実施した。2 年生を対象としたワークショップでは、大学教員や学生との交流を図ることで、本学の魅力を感じてもらうことができた。

福祉教育フェスティバル(福祉体験成果発表、福祉教育セミナー)は第 26 回目を迎え、参加高校による本学見学会がおこなわれるなど、高大連携の関係性を継続・強化できている。

ロ) 学生募集活動

【定員充足率の推移】カッコ内は充足率

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
在籍学生数	548 (94.5%)	608 (104.8%)	621 (107.0%)	659 (113.6%)	669 (115.34%)
1 年次入学者数 (内訳)	166 (118.5%)	175 (125%)	166 (118.5%)	182 (130%)	180 (128%)
社会福祉学科	50 (100%)	53 (106%)	50 (100%)	49 (98%)	52 (104%)
経済政策学科	62 (124%)	83 (166%)	82 (164%)	77 (154%)	70 (140%)
多文化コミュニケーション学科	54 (132.5%)	39 (97.5%)	40 (100%)	56 (140%)	58 (145%)

※ 多文化コミュニケーション学科の学生数は交換留学生含む

ハ) 留学生募集

【留学生入学者推移】

	2021 年度		2022 年度	2023 年度		2024 年度	2025 年度
	4 月	10 月	4 月	4 月	10 月	4 月	4 月
1 年次	35	1	16	17	-	22	18
うち私費	31	1	13	11	-	14	8
うち交換留学生	4	0	3	6	-	8	10
3 年次	2	0	1	0	-	2	1
うち三年次編入	2	0	1	0	-	1	1
うち短期	0	0	0	0	-	1	0
学部生合計	37	1	17	17	-	24	19
日本語教育プログラム	1	0	138	42	-	-	-
留学生日本語別科					40	32	33
留学生合計	38	1	155	59	40	55	52

4) その他の主な教育研究活動

<2024 年度累積 GPA 学年別平均>

	年度	1 年	2 年	3 年	4 年
平均	2022 年	2.44	2.49	2.67	2.71
	2023 年	2.62	2.49	2.53	2.80
	2024 年	2.56	2.62	2.48	2.64
最高	2022 年	3.81	3.75	3.91	3.88
	2023 年	3.83	3.82	3.77	3.92
	2024 年	3.90	3.78	3.83	3.77
最低	2022 年	0.42	0.26	0.63	0.59
	2023 年	0.79	0.42	0.37	1.11
	2024 年	0.14	1.15	0.55	0.95

<学長賞・成績優秀賞>

学長賞・・・卒業時に、4年間で卒業要件を全て充足し、かつ累積 GPA が 3.50 以上の上位の者、若しくは学期毎に、20 単位以上を修得し、かつ累積 GPA が 4.0 以上の者。
成績優秀賞・・・学期毎に、20 単位以上を修得し、GPA が 3.50 以上の者。

2021 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	13	11+1(学)	14+1(学)	0
後期	15	10	22	8+1(学)
2022 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	10	6	13	2
後期	11	6	10	13+1(学)
2023 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	7	15	14	0
後期	17	10	9	9+1(学)
2024 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	28	11	12	1
後期	25	3	12	8+1(学)

<障害学生の在学状況>

	聴覚障害学生	肢体不自由学生	その他	計
2021 年度	0 人	1 人	14 人	15 人
2022 年度	0 人	2 人	13 人	15 人
2023 年度	0 人	1 人	19 人	20 人
2024 年度	0 人	1 人	27 人	28 人

<科目等履修生の受入状況>

	前期	後期
2021 年度	4 人	4 人
2022 年度	3 人	3 人
2023 年度	9 人	8 人
2024 年度	9 人	7 人

(English Proficiency、病弱者教育課程・指導法、発達障害者教育総論、肢体不自由者の理解と支援、社会心理学、障害者の心理、視覚障害者教育総論、聴覚障害者教育総論、知的障害者教育課程論、韓国語文法、教育実習ほか)

<部活動の主な成績・活動> 強化指定部:卓球部、バレー部、サッカー部、ジャズアンサンブル部

クラブ名	大会名	結果
卓球部 男子	全九州春季学生卓球選手権大会(沖縄)	団体:2 部優勝 1 部昇格 シングルス:8 位、11 位
	全九州秋季学生卓球選手権大会(福岡)	団体:1 部 5 位 シングルス:1 位、16 位
	長崎県卓球選手権大会(長崎)	シングルス:ベスト8 ミックスダブルス:準優勝
	全日本大学学生選手権大会(埼玉)	シングルス:出場
	九州新人卓球選手権大会(福岡)	シングルス、ダブルス:準優勝
	全九州選手権大会予選(長崎)	シングルス:4 位
	オール西日本卓球大会(岐阜)	シングルス:出場
	全日本卓球選手権大会(愛知)	ミックスダブルス:出場
	大阪国際招待卓球選手権大会(大阪)	シングルス:出場
	東京卓球選手権大会(東京)	シングルス:出場
	全九州卓球選手権大会(鹿児島)	シングルス:出場、 ダブルス:3 位
卓球部 女子	全九州春季学生卓球選手権大会(沖縄)	団体:1 部 5 位
	全九州秋季学生卓球選手権大会(福岡)	団体:1 部 4 位 シングルス:15 位
	長崎県卓球選手権大会(長崎)	ダブルス:ベスト8 シングルス:ベスト16
	全九州卓球選手権大会予選(長崎)	シングルス:準優勝 ダブルス:優勝
	オール西日本卓球選手権大会(岐阜)	シングルス:2 名出場
	全九州卓球選手権大会(鹿児島)	シングルス:1 名出場 ダブルス:3 位入賞
バレー部 男子	九州大学春季バレーボール男子チャレンジマッチ(鹿児島)	ベスト8
	九州大学秋季バレーボール男子チャレンジマッチ(沖縄)	ベスト8
	天皇杯全日本バレーボール選手権大会(長崎)	3 位
バレー部 女子	九州大学春季バレーボール女子チャレンジマッチ(宮崎)	3 位
	九州大学秋季バレーボール女子チャレンジマッチ(大分)	優勝
	皇后杯全日本バレーボール選手権大会(長崎)	1 回戦敗退
	九州大学女子1・2年生バレーボール大会	準優勝
サッカー部	第47回九州大学サッカートーナメント予選、プレーオフ	第1節 鹿児島国際大学 2-0 第2節 大分大学 5-3 PO 九州大学 4-0
	第47回九州大学サッカートーナメント本戦	1回戦 九州国際大学 2-1 2回戦 九州共立大学 4-5
	R6 年度長崎県大学サッカー秋季リーグ	優勝 第1節 長崎県立大学 2-0 第2節 長崎大学 4-0

	第 39 回九州各県大学サッカーリーグ決勝大会	九州リーグ昇格 第 1 節 琉球大学 12-0 第 2 節 鹿児島大学 1-0 第 3 節 崇城大学 9-0
	第 36 回(天皇杯)長崎県サッカー選手権大会大学予選	優勝 1回戦 長崎国際大学 PK 4-3 決勝戦 長崎総合科学大学 PK 5-4
ウエスレヤン ジャズ アンサンブル WJE	こうじろフェス(4/21)	
	佐世保海辺のコンサート(4/28)	
	ルノンマルシェ(5/6)	
	メモリード異業種交流会(5/17)	
	にじフェス(5/25)	
	こうじろフェス(6/16)	
	ローターアクト最終例会(6/21)	
	諫早西ロータリークラブ合同例会(6/26)	
	アイランド長崎(7/6)	
	福祉就活応援フェア(8/1)	
	ルノンマルシェ(8/3)	
	ローターアクト例会(8/6)	
	ヤマノ・ビッグバンド・ジャズコンテスト(8/18)	全国 32 位
	明治大学交流会(8/24)	
	JA ながさき県央 ふれあいフェア(9/8)	
	のんのご諫早まつり(9/15)	
	大村グルメフェス(10/6)	
	ラジオ出演(10/7)	FM いさはや
	福祉施設しろみ秋祭(10/12)	
	ルノンマルシェ(10/12)	金賞
	こうじろフェス(10/20)	
	校友会(10/26)	
	エコフェスタ(10/27)	
	福祉施設椿寿荘(11/2)	
	佐世保海辺のコンサート(11/3)	
	伊王島 海上保安庁(11/3)	
	オールナイトニッポン GOLD・スペシャル番組(11/8)	全国放送
	長崎シティジャズ 2024(11/16)	
	いさはや灯りファンタジア(12/1)	
	ラジオ出演(12/2)	FM いさはや
	フェスティタスナタリス(12/7)	
	高大連携ワークショップ(12/9)	
	こうじろフェス(12/15)	
	長崎県アンサンブルコンテスト(12/27)	金賞・県代表
	アイランド長崎ナイトタイムコンサート(1/18)	
	九州アンサンブルコンテスト(2/9)	金賞(九州)
	ルノンマルシェ(2/15)	
	多良見カーイベント(2/23)	

	大村ポップス&ジャズコンサート(3/9)	
	高来西公民館コンサート(3/18)	
	西諫早公民館コンサート(3/19)	
スポーツ クライミング	にしけいカップ 2024 リード(4/7)	成年女子 4 位
	にしけいカップ 2024 ボルダリング(4/27)	ミドル女子 12 位
	シーハットカップ 2024(6/16)	エキスパートクラス 10 位
	第 44 回九州ブロック大会スポーツクライミング競技 (7/20)	成年女子 3 位
	第 19 回クライマーズチャレンジカップ 8/25	アッパーミドルクラス 8 位
	SAGA2024 国民スポーツ大会ボルダリング	チーム総合 25 位
	SAGA2024 国民スポーツ大会リード	チーム総合 17 位
	SCJT2024 ボルダリング 第 3 戦	女子 35 位
ぶっく倶楽 部	ウェルカムビブリオ(4/9)	
	市長さんと語る会チームビブリオ(4/19)[諫早図書館] (主催:諫早図書館利用者団体連絡協議会)	
	諫早としょかんフェスティバル(7/7)	
	全国大学ビブリオバトル予選会(7/7、8/26、9/16、 10/13)	
	水曜おはなし会(7/31・9/4)[諫早図書館]	
	子ども読書リーダー養成講座運営補助 (7/25、26)[大村ミライ on 県主催]	
	子ども読書リーダー養成講座運営補助 (7/31)[西有家図書館/県主催]	
	子ども読書リーダー養成講座運営補助 (8/7)[五島市立図書館/県主催]	
	全国大会ビブリオバトルブロック決戦 (11/10)[諫早市立図書館]	
	3 校合同 読書に関する学習会(11/25) [諫早特別支援学校]	
	冬のおはなし会(12/14)[諫早図書館]	
	全国大学ビブリオバトル本戦(12/22)[東京]	
	放課後子ども英会話教室(2/15)[大村市中央公民館]	

<学術研究>

● 個人研究費の配分状況

2024 年度の個人研究費については、財務逼迫の折、昨年同様 150 千円の配分となった。

● 地域総合研究所共同研究費の配分状況

<採択課題一覧> 特定研究 5 件、特別研究 7 件 計 12 件

	研究代表者	研究課題名
特定研究	吉野 浩司	学生のアントレプレナーシップ育成
	金 文華	福祉ビジネス推進に向けた新カリキュラム開発(新)
	渡邊 研三、 原田 尚之	高大連携を通じた課題解決型教育システムの開発(鎮西学院高校・奈留高校・小浜高校など)
	川口 宗徳	データサイエンスをブースターとした鎮西型総合知教育プログラムの開発
	菅 達也	鎮西平和学(鎮西学院史)の推進
特別研究	アハメド・ ジュナエド・ ウッデイン	バングラデシュの総輸出量の 80%以上を占める既製服(RMG)企業の社会的責任(CSR)について。phase2 A study on Corporate Social Responsibility (CSR) of Readymade Garments (RMG) company that contribute more than 80% to Bangladesh's total exports.phase2
	加藤 久雄	旧大村領を中心とした潜伏キリシタン由来の集落および他地区の墓制の比較 -旧大村領の 17~20 世紀の潜伏キリシタン由来の墓制の理解に向けて-その②
	吉野 浩司	小城市歴史資料館「高田保馬関連文書」の整理と高田社会学の解明
	カ久 愛	東アジア地域の大学におけるソーシャルワーク共同学習プログラムの開発と実践
	銭坪 玲子	外国につながる子どもの言語学習と非認知能力の育成
	山口 弘幸	多様性に配慮したジオパークのユニバーサルデザイン化の推進方策の検討
	登り山和希	長崎県の郷土料理を応用したインバウンド向けのフードツーリズムの開発

● 科学研究費助成事業の獲得状況

「2024 年度科学研究費助成事業」の継続課題は、学術研究助成基金助成金 6 件であった。「2025 年度科学研究費助成事業」への申請件数は 8 件、採択課題は 1 件であった。

2022 年度より地域総合研究所共同研究応募者には科研費事業への応募を必須化しており、昨年度並みの応募件数であった。

以上